

議案第185号 令和5年度さいたま市一般会計補正予算(第6号) ほか13件

物価高による負担軽減のための給付金など 総額257億円超の補正予算議案を可決

国の補正予算に伴う事業の実施、子ども・子育てを支える都市の実現、スポーツ先進都市の創造、個性豊かで潤いのある都市空間の形成などに要する経費について、市長から令和5年度補正予算議案が提出され、可決されました。

<主な事業>

- 住民税非課税世帯等への1世帯7万円の給付金の支給
- 住民税均等割のみ課税世帯への1世帯10万円の給付金の支給
- 低所得の子育て世帯へ児童1人5万円の給付金の支給
- 省エネ性能の高い家電製品への買換えに要する費用の一部を補助
- 民設放課後児童クラブの新規整備に要する経費の一部補助
- 市民の誰もがアーバンスポーツを楽しむことができる場所の整備
- 沼影市民プールの代替となるレジャープールの新設に向け、候補地の検討に必要な調査
- 調査により判明した不適正な契約の令和6年度以降の支出義務の適正化

議員提出議案第2号 公平で安全なブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)の実施に向けた適切な措置を求める意見書

市議会から国へ意見書を提出

身体への外傷等を原因として発症する脳脊髄液漏出症(減少症)の患者が、その治療法であるブラッドパッチ療法*を保険診療のもと、公平で安全に受けられるよう、適切な措置を講じることを強く求める意見書が議員から提出され、可決されました。意見書は、国会や関係行政庁に提出されます。

- 公平で安全なブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)の実施に向けた適切な措置を求める意見書

*ブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)…脳脊髄液が漏れている脳脊髄液漏出症(減少症)の患者に対して、髄液の漏れている周辺に患者自身の血液を注入して漏れを止める治療法。

【特別委員会】有識者から意見聴取 公共交通の在り方検討・大宮駅GCS化構想

超高齢社会に向けた公共交通の在り方検討特別委員会と大宮駅グランドセントラルステーション化構想特別委員会では、それぞれの事業の見識を深めることを目的に有識者から意見を伺いました。有識者の豊富な知見と経験をもとに示された各事業の現状や課題を委員と執行部で共有できたことで、市民の関心の高いこれらの事業のあるべき姿の実現に向け、今後も調査研究を進めていきます。



12月定例会で審議された議案 ▶ 市長提出議案86件、議員提出議案1件/合計87件

